

## 科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 5 年 6 月 23 日現在

機関番号：13601

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2020～2022

課題番号：20K00365

研究課題名(和文) 『杜騙新書』の発展的研究

研究課題名(英文) Advanced research on 'Dupian xinshu'

研究代表者

伊藤 加奈子 (ITO, Kanako)

信州大学・学術研究院人文科学系・教授

研究者番号：80293489

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,200,000円

研究成果の概要(和文)：当「『杜騙新書』の発展的研究プロジェクト」では、第三卷第十七類姦情騙の第五十五話から最終話である第四卷第二十四類引嫖騙の第八十四話までの日本語訳と注釈を完成させ、『『杜騙新書』訳注稿三編』として発行した。並びに刊行した成果を国会図書館を始めとする全国都道府県立図書館、また東洋学研究会諸機関に寄贈した。

2015年3月に発行された『『杜騙新書』訳注稿初編』、2018年3月に発行された『『杜騙新書』訳注稿二編』、そしてこの度発行に至った『『杜騙新書』訳注稿三編』と合わせることで、『杜騙新書』日本語訳注が全巻全話を網羅する形で完成した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

『杜騙新書』は中国明代の商人層を中心とする様々な詐欺事件を題材としている俗語短編小説集であり、その内容は当時の社会情勢や経済や法制度、また人々の善悪に対する見方や家族関係や人間関係のあり方などを如実に反映している。従来、日本の江戸文学との関連性から専ら分析がなされてきた『杜騙新書』であるが、この度初めて中国に関係する様々な分野からの専門的見地から日本語訳と注釈が完成した。また現時点で確認される写本5種の分析からも、江戸時代における中国書物の受容がいかなるものであったかの新たな考察につながるものと考えられる。これを切り口として、明代社会の諸相を研究する新たな糸口となることを期待するものである。

研究成果の概要(英文)：In this "Advanced research on 'Dupian xinshu'", we completed the Japanese translation and annotations, and published them as the "Dupian xinshu Translation and Commentary, 3 editions". The result was donated to the National Diet Library, prefectural libraries throughout Japan, and other institutions related to Oriental studies research. Together with the first volume of the "Dupian xinshu" translation published in March 2015, the second volume of the "Dupian xinshu" translation published in March 2018, and the third volume of the "Dupian xinshu" translation published this time, the Japanese translation of the "Dupian xinshu" is now fully complete, covering all the stories in all volumes.

研究分野：中国語学

キーワード：中国文学 日本近世文学 中国経済史 中国法制史 中国語学

## 1. 研究開始当初の背景

『杜騙新書』は、様々な詐欺事件を題材とし、それに警告を投げかける形で記述される中国近世の俗語短編小説集である。主な読者層として商人が想定され、明代当時の社会・経済・法制・風俗・言語等々を活写している作品である。内容的には中国の公案小説(事件・裁判物)として位置づけることが可能であるのだが、中国文学におけるこのジャンルの代表的な研究書である荘司格一『中国の公案小説』(1988)では言及されておらず、また他の研究者による専論も存在しないという状態が続いていた。その一方で、日本文学では早い時期から『杜騙新書』と江戸文学との関連が注目され、石崎又造『近世日本に於ける支那俗語文学史』(1940)や、徳田武「馬琴と『杜騙新書』」(1981)のように優れた研究成果が生まれている。ただしこれらで論じられているのは、日本文学や比較文学の観点からの『杜騙新書』がもたらした日本文学への影響であって、中国文学における『杜騙新書』そのものを中心として検討分析を行ったものではない。そこで2013年から『杜騙新書』研究プロジェクトを立ち上げ、三段階に分けて全巻全話の日本語訳と注釈の作成を目指すこととした。

## 2. 研究の目的

本研究の目的は、『杜騙新書』ひいては明代社会の諸相を今後研究するにあたって基礎資料の一つとすべく、『杜騙新書』の情報をまとめあげることであり、2020年度からの最終段階はその総仕上げとなった。

詐欺事件とそれに対する防犯を主題とする内容であることから、『杜騙新書』は詳細な騙しの手口をジャンル分けして紹介している。商取引での荷のすり替えや時には強奪があり、水運を舞台とするものもあれば、賄賂による科挙の不正審査につけこむものもあり、また当時の貨幣制度で銀を主に利用していたことから見てくれが銀に似る贋金作りも横行し、そこには明代当時の商売人の生活形態や経済動向、更には当時の化学知識と技術をも窺える側面がある。妓女や妻を利用した詐欺もあり、ここからは当時の男女観・家族観のあり様を知り得ることが可能である。また事件を取り扱う裁判の記述もあり、明代法制に対する同時代人の見方も反映されていると考えることができる。実に多種多様な内容が含まれているのである。

『杜騙新書』の日本語による全訳注釈を完成することで、中国語母語話者だけでなく、日本語母語話者の目にも留まりやすくなるし、そこから新たな視点が生まれることで、中国文学・社会・経済・法制・言語、また日本文学との関連性についての更なる考察が進むことを期待するものである。

## 3. 研究の方法

2013年度のプロジェクト開始から、底本となる『杜騙新書』の国内外における所蔵情報を洗い出し、国会図書館、(財)前田育徳会・尊経閣文庫、東京大学東洋文化研究所、東京大学総合図書館等々を調査した、複写許可が得られたものについては散逸しないよう製本作業を行い、諸本資料の充実に努めた。国会図書館所蔵の江戸期写本についてもデジタル複写を作成し資料に加えている。またハーバード大学図書館がWeb公開している明刊本も資料となった。

新型コロナウイルス流行の予想を超えた長期化により、中国本国の図書館で所蔵されている資料にアクセスが叶わなかったのはたいへん残念なことではあったが、最終的に調査に必要な資料は概ね収集することができた。

訳注作成に当たっては奇数話を佐立が、偶数話を氏岡が、それぞれ草稿を作成したうえで、それを伊藤・井上・閻とともに五名で検討を重ねることで完成へと至った。

## 4. 研究成果

2015年3月に発行された『『杜騙新書』訳注稿初編』、2018年3月に発行された『『杜騙新書』訳注稿二編』、そしてこの度発行に至った『『杜騙新書』訳注稿三編』と合わせることで、『杜騙新書』日本語訳注が全巻全話を完全網羅する形で完成した。刊行した成果は、国会図書館を始めとする全国都道府県立図書館、また東洋学関係諸機関に寄贈した。

底本である『杜騙新書』明刊本は日中米の6か所に所蔵されているが、保存状態の違いこそあれ字句の異同が無いことが確認できている。

この度の訳注稿の作成と検討作業を通じて、請求や懇求の意味である「央」が「鞅」と表記されているなど、現在における漢字の意味・用法についての定義定説から見れば誤字に映るかもし

れないが、『杜騙新書』においては頻出している現象が確認され、独自の規範意識の存在を窺わせている。それに類すると思われる文字の使い方が他にも複数見受けられ、これは文言白語が混交されていること、また明代当時の福建方面の方言を交えていることがその原因にあるのではと予想される。『杜騙新書』の言語学的特徴については、漢字表記と用法も含めて今後も検討課題である。現時点で確認される江戸時代の写本5種は、所見によれば明刊本に忠実たらんとして誤脱を免れないが、後世に加えられた朱書・藍書の書き込みによって正されてゆく傾向にあり、その過程をたどることは、江戸時代における中国書の受容を考えるためにも、興味深い資料を提供するものである。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計25件（うち査読付論文 15件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 5件）

1. 著者名 氏岡真士、間小妹	4. 巻 16
2. 論文標題 続『杜騙新書』の国立国会図書館蔵抄本について	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 信州大学総合人間科学研究	6. 最初と最後の頁 161-196
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 氏岡真士	4. 巻 9(1)
2. 論文標題 『杜騙新書』における包公	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 信州大学人文科学論集	6. 最初と最後の頁 73-88
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 氏岡真士	4. 巻 9(2)
2. 論文標題 鐘批 水滸 與三十卷本	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 信州大学人文科学論集	6. 最初と最後の頁 121-137
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 史傑鵬（原著者）、間小妹（翻訳）、上條和恵（翻訳）、加藤裕理（翻訳）	4. 巻 16
2. 論文標題 [翻訳] 『戸籍簿』（2）（原題『戸口本』）	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 信州大学総合人間科学研究	6. 最初と最後の頁 286-295
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 東アジアにおける女性と隠逸について 朝鮮の女性詩人徐氏の「次帰去来辞」を中心にー	4. 巻 7
2. 論文標題 曹虹(原著者)、間小妹(翻訳)、合山林太郎(翻訳)、田中仁(翻訳)、平林香織(翻訳)	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本文学	6. 最初と最後の頁 22-32
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐立治人	4. 巻 71(5)
2. 論文標題 併合罪の吸収主義の成立について：オルトラン説を土台にして	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 關西大學法學論集	6. 最初と最後の頁 1478-1453
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐立治人	4. 巻 71(4)
2. 論文標題 旧刑法の数罪併発条の吸収主義の由来について	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 關西大學法學論集	6. 最初と最後の頁 A1158-A1142
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐立治人	4. 巻 71(3)
2. 論文標題 [資料] 呉訥撰・若山拯訓読『祥刑要覧』の訳注(十)	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 關西大學法學論集	6. 最初と最後の頁 930-919
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐立治人	4. 巻 71(2)
2. 論文標題 現行日本刑法第三十八条第二項の由来について：旧中国の罪刑法定主義の「生きた化石」	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 關西大學法學論集	6. 最初と最後の頁 156-135
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 井上正夫、市川虎彦、川東埜弘	4. 巻 119
2. 論文標題 帝国農会幹事 岡田温日記 第十六巻 昭和十八年	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 松山大学総合研究所所報	6. 最初と最後の頁 1-98
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 加藤光一、井上正夫、中岡深雪、石川啓雅、藤井孝哉	4. 巻 121
2. 論文標題 中国の都市開発を考える	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 松山大学総合研究所所報	6. 最初と最後の頁 1-103
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 伊藤加奈子	4. 巻 9(2)
2. 論文標題 “楼”は建物かアパートか 場所表現についての日中対照	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 信州大学人文科学論集	6. 最初と最後の頁 89-119
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 氏岡真士、閻小妹	4. 巻 15
2. 論文標題 『杜騙新書』の国立国会図書館蔵抄本について	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 信州大学総合人間科学研究	6. 最初と最後の頁 146-171
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐立治人	4. 巻 70(6)
2. 論文標題 呉訥撰・若山拯訓読『祥刑要覧』の訳注(九)	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 關西大學法學論集	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐立治人	4. 巻 70(5)
2. 論文標題 秦朝の法医学の先進性について：雲夢睡虎地秦墓竹簡『封診式』「経死」節の訳注	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 關西大學法學論集	6. 最初と最後の頁 A1574-A1558
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 佐立治人	4. 巻 70(4)
2. 論文標題 呉訥撰・若山拯訓読『祥刑要覧』の訳注(八)	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 關西大學法學論集	6. 最初と最後の頁 1100-1087
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 佐立治人	4. 巻 70(2-3)
2. 論文標題 探偵小説の中国起源説について	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 關西大學法學論集	6. 最初と最後の頁 524-500
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 佐立治人	4. 巻 70(1)
2. 論文標題 旧中国の罪刑法定主義の非国教化について	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 關西大學法學論集	6. 最初と最後の頁 234-206
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 井上正夫	4. 巻 32中嶋慎治教授記念号
2. 論文標題 北宋四川における交子の発生過程について	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 松山大学論集	6. 最初と最後の頁 5-33
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 氏岡真士	4. 巻 8(1)
2. 論文標題 ling4 [ 口力 ] 一個北京所藏の容與堂本《水滸》	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 信州大学人文科学論集	6. 最初と最後の頁 33-40
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 氏岡真士	4. 巻 28
2. 論文標題 『水滸後伝』と『宣和譜』	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 饗饗	6. 最初と最後の頁 49-65
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 氏岡真士	4. 巻 8(2)
2. 論文標題 原刊本《水滸後傳》管窺	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 信州大学人文科学論集	6. 最初と最後の頁 129-142
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 閻小妹、上條和恵	4. 巻 15
2. 論文標題 『戸籍簿』(1)(原題『戸口本』)	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 信州大学総合人間科学研究	6. 最初と最後の頁 203-210
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 伊藤加奈子	4. 巻 8(2)
2. 論文標題 冷蔵庫はいつ開いたのか？ 動作の省略と場所表現についての日中対照	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 信州大学人文科学論集	6. 最初と最後の頁 101-128
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 伊藤加奈子	4. 巻 10(2)
2. 論文標題 “V過0来(去)”における“過”の役割とは何か？	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 信州大学人文科学論集	6. 最初と最後の頁 21-37
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計0件

〔図書〕 計4件

1. 著者名 伊藤加奈子・井上正夫・氏岡真士・間小妹・佐立治人	4. 発行年 2023年
2. 出版社 『杜騙新書』の発展的研究プロジェクト	5. 総ページ数 197
3. 書名 『杜騙新書』訳注稿三編	

1. 著者名 井上正夫	4. 発行年 2022年
2. 出版社 名古屋大学出版会	5. 総ページ数 584
3. 書名 東アジア国際通貨と中世日本 宋銭と為替からみた経済史	

1. 著者名 氏岡真士	4. 発行年 2021年
2. 出版社 科研報告書別冊	5. 総ページ数 96
3. 書名 続書を中心とした『水滸伝』の研究	

1. 著者名 岩橋勝編	4. 発行年 2021年
2. 出版社 晃洋書房	5. 総ページ数 376
3. 書名 貨幣の統合と多様性のダイナミズム ( pp.17-36 井上正夫「深津の市の尼御前の割符 中世替銭の応用技術」)	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	井上 正夫  (INOUE Masao)  (10633274)	松山大学・経済学部・教授   (36301)	
研究分担者	氏岡 真士  (UJIOKA Masashi)  (60303484)	信州大学・学術研究院人文科学系・教授   (13601)	
研究分担者	閻 小妹  (YAN Xiaomei)  (70213585)	信州大学・全学教育機構・特任教授   (13601)	
研究分担者	佐立 治人  (SADATE Haruihto)  (70340643)	関西大学・法学部・教授   (34416)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------